

看護師への卒後教育におけるeラーニングの開発

看護学部 本田 順子

キーワード

看護教育、eラーニング、家族看護、在宅、看護師、OJT

研究概要

患者個人だけでなく、患者を含む家族を1つの単位としてとらえ、家族全体を対象とした看護ケアを提供することが世界的なスタンダードとなっている。特に近年では、病院から在宅へと医療は大きく変換を迫られており、在宅での治療の継続や療養には「家族」の存在は欠かせない。看護学教育の学部教育化が浸透してきており、エビデンスにもとづいた看護師の看護能力の向上が求められているが、4年間の学部教育では、家族看護学の知識に少し触れることはできても、実践能力を身につけるまでに至らない。そこで、家族看護実践能力の向上を目指す看護教育プログラムを開発と効果の検証をしている。本プログラムの有用性が実証されることにより、臨床看護師の家族看護力の向上に貢献することが可能となる。本研究では家族看護に焦点をあてているが、今後は様々な看護教育に応用していきたい。2018年度まで科学研究費補助金(若手研究A)(代表:本田順子)の助成を受け、本研究に取り組んだ。継続して科学研究費補助金(基盤研究B)(代表:本田順子)の助成を2019年度より受けている。

アピールポイント

2016年現在、就業看護師数は、160万人を超える。医療業界では、卒後も継続教育が重要であり、市場は大きい。看護師が所属している施設規模は様々であり、集合教育が行き届かない。在宅医療が促進され、小規模な訪問看護ステーションが点在しており、そのような施設での継続教育が課題となっている。本研究は、そのような社会的ニーズに沿っている。

応用分野

・OJT全般 ・看護教育 ・シミュレーション教育